

第4学年 学級活動（食育）指導案

平成26年11月18日5校時
指導者 明妻 紀子
展開場所 教室

1 題材名 おせち料理で新年をお祝いしよう

2 題材について

昨年、日本人の伝統的な食文化としての「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録された。評価された理由のひとつに「年中行事との密接なかかわり」があげられている。しかし、現代では、季節や産地を問わずに様々な食材が簡単に手に入ることから日本人が大切にして伝えてきた季節ごとの行事食が少なくなり、日本の良き食文化への意識は希薄になってきている。このような状況からも、昔から伝えられてきた食文化やその知恵を伝えていくことの必要性が一層高まっていると考える。特にお正月のおせち料理は「家族みんなが健康で明るい1年が送れますように」という願いが込められていて、ぜひ大切に受け継いでいきたい食文化である。

本題材は、特別活動の内容[学級活動](2)「日常の生活や学習への適応及び健康安全」の「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」を受けて設定したものである。おせちは日本人のお正月の大切な伝統料理であることがわかり、自分の家庭でも受け継いでいこうとする意欲をもつことがねらいである。おせち料理には無病息災や子孫繁栄の願いが込められていることを知らせ、新しい年の家族の幸せを願って昔から受け継がれてきたことに気づかせたい。そのために、まず、おせち料理にはどのような料理があるか、どのような願いが込められているかを「マイおせち」を作る活動を通して理解させ、興味・関心を高めたい。そして、ここで学んだことは、家庭に伝え、子供たちが家族と一緒に家庭の食文化を伝えていけるようにしていきたい。

3 児童の実態

本学級は男子13名、女子17名で、明るく活動的な子供たちである。学習については、意欲的に取り組む姿勢があり、発言も積極的である。一方、自分の考えをわかりやすく書いたり、みんなの前で説明したりすることが苦手な子もいて、「難しい」あるいは「興味がない」と感じると、あまり考えようとしないう子もいる。

食事については、給食では残さず食べようとする姿がうかがえるが、苦手な食品があると、見ただけで手を付けずに残す子もいる。食生活アンケートから、家庭の共食の状況は、夕食を週に6～7日家族揃って食べる子は約4割、週に1～2日の子が約4割で、食事のときに気を付けていることは、手洗いやあいさつ、残さず食べることが多かった。家庭における食育や興味関心は個人差が大きい。

おせち料理について、アンケートから、ほとんどの子供が正月におせち料理を食べていることがわかった。代表的なおせち料理はほとんど食べたことがある子供も多くいた。11月から行っている総合的な学習の「日本の伝統文化にふれよう」では、おせち料理に興味をもち、意味やいわれについて調べている子供も多いう。一方で、代表的なおせち料理であっても「知らない」と答える料理があり、おせち料理の箸休めとして欠かせない「紅白なます」は「食べたことがある」3名、「知っている」8名、「知らない」19名であった。「どうしておせち料理を食べるか」は、「わからない」と答えた子供が11名であった。家族構成は核家族が多く、祖父母が県外に住んでいる子供は22名おり、両親の出身地は全国各地にわたっていることから、「おせち料理」とひとくくりで表しても、家庭によって違いがあることが予想できる。

以上のことから、おせち料理を知ってはいるが、受け継がれてきた食文化についての理解は浅いことから、日本の伝統食であるおせち料理の意味や込められた思いを学ばせ、興味関心を高めていく。また、「マイおせち」を作る活動をしたり、子供から家庭に働きかける活動を事前・事後に設定し、家庭との連携を図ったりすることで、日本のよき伝統文化である行事食に興味をもち、尊重する心や継承する態度を育てたい。そして、日本人が大切にしてきた季節・年中行事とかかわりのある食文化や家庭で引き継がれてきた我が家の味を伝えていく子供になるよう、学習を進める。

<食生活アンケート調査結果> 児童数 30 名

設 問	実 態 (名)		
1 あなたの家では、おせち料理を食べますか。	はい 28 いいえ 2		
2 次のおせち料理について食べたことがあるものに◎、知っているものに○を付けてください。	◎ (食べたことがある)	○ (知っている)	(わからない)
・ 黒豆	24	5	1
・ 田作り (ごまめ)	8	7	15
・ きんとん	13	12	5
・ 紅白なます	3	8	19
・ かずのこ	13	15	2
・ だて巻き	17	9	4
・ こんぶ巻き	13	9	9
・ 煮しめ	7	12	11
3 あなたのおじいさん、おばあさんはどこに住んでいますか。	① 同じ家に住んでいる 2 ② 千葉市内 9 ③ 千葉県内 13 ④ 千葉県外 22 (両祖父母とも 9) 島根、大阪、新潟、東京、埼玉、長崎、大分、和歌山、山口、神奈川、愛知、岐阜、三重、北海道、山梨、オーストラリア		
4 どうしてお正月におせち料理を食べると思いますか。	・年の初めを祝う 4 ・良い年になるように 2 ・幸せになるように 2 ・長生き・健康 3 ・神様のまつり 1 ・正月にあてはまる料理 1 ・わからない 11		

4 題材の目標

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	知識・理解
・おせち料理を自分の食生活に取り入れようとする。	・昔の人がおせち料理に込めた願いを形や色から想像し、家族の健康や幸せを願っておせち料理を組み合わせることができる。	・おせち料理の料理名やいわれを理解している。

5 指導計画 (1時間)

時 配	学 習 活 動
課 外	おせち料理のアンケートを行う。 我が家の正月料理、その料理を食べる理由を家庭で取材する。
1【本時】	おせち料理は正月の伝統料理であることを知り、料理に込められた願いを知る。 おせち料理で家族と新年を祝おうとする意欲をもつ。
家庭実践	家庭に学習したことを知らせ、冬休みに我が家のおせち料理について家族に聞いたり、一緒に作り味わったりする。
事後指導	1月の給食でおせち料理を食べながら、学習を振り返る。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- おせち料理は日本の伝統料理であることを知り、料理に込められた願いを知る。
- おせち料理で家族と新年を祝おうとする意欲をもつ。

(2) 展開 (1 / 1)

	学習活動と内容	教師の指導・支援 (□評価◇電子黒板活用)	資料・教具
導入	<p>1 家庭で取材したわが家の正月料理とそれを食べる理由を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お雑煮を食べる。もちはめでたい時に食べるものだから。 ・おせち料理を食べる。よい年であるように願って食べる。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○事前に我が家の正月料理、その料理を食べる理由を家庭で取材させておく。</p> <p>○多くの家庭で新年を祝い、よい年であるように願っておせち料理を食べていることに気付かせる。</p>	<p>取材用ワークシート</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>なぜ、お正月にはおせち料理を食べるのだろうか</p> </div>			
展開	<p>3 おせち料理の種類や込められた願いや意味を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒豆…まめに働く ・えび…長生きを願う ・紅白なます…新年を祝う ・きんとん…金運がよくなる ・だて巻き…勉強ができる ・昆布巻き…新年を喜ぶ <p>4 おせちボックスを組み合わせて、「マイおせち」を作り、選んだ料理とその理由をワークシートに書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちの人に長生きしてほしいからエビを入れよう ・勉強ができるように伊達巻を入れよう ・黒豆はつやつやしていておいしそう 	<p>○写真を見せて知っている料理名と料理に込められて願いや意味について、家庭取材をもとに発表させる。</p> <p>○昔の人は色や形、名前の語呂合わせにより、新しい年への願いをかけていたことを気付かせる。</p> <p>○わかったこと、初めて知ったことをワークシートにまとめ発表させる。</p> <p>◇料理に込められた願いや新年を祝う色合いを考えて選んだ4種類のおせちの実物を見せる。</p> <p>○8種類の料理のうち4種類を選んで詰め合わせるよう指示する。</p> <p>○料理に込められた願いや色合いを考えて、組み合わせるように伝える。</p> <p>○自分や家族への願いにあてはめて考えさせる。</p> <p>◇<u>電子黒板に写し、選んだ料理とポイントを話させる。</u></p> <p>□おせち料理に込められた願いを知り、自分や家族の健康と幸せを願っておせち料理を組み合わせている。</p>	<p>おせち料理の写真ワークシート</p> <p>おせちの実物 おせちボックス 電子黒板</p>
まとめ	<p>5 自分の家でやってみたいこと、工夫して取り入れてみたいことをワークシートに記入する。</p>	<p>○ワークシートに記入させ、発表させる。</p> <p>□おせち料理で家族と新年を祝おうとする意欲をもっている。</p> <p>○冬休みにおうちの人とおせち料理を作り、日記を書いてくることを知らせる。</p>	